

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年5月30日(2024.5.30)

【国際公開番号】WO2023/053592
 【出願番号】特願2023-551072(P2023-551072)

【国際特許分類】

A 6 1 B 7/04(2006.01)

A 6 1 B 5/01(2006.01)

A 6 1 B 5/259(2021.01)

A 6 1 B 7/00(2006.01)

A 6 1 B 5/282(2021.01)

A 6 1 B 5/00(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 7/04 J

A 6 1 B 5/01 1 0 0

A 6 1 B 5/259

A 6 1 B 7/00 B

A 6 1 B 5/282

A 6 1 B 5/00 1 0 1 R

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月8日(2024.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

装着時に生体に対向する対向面を備える本体と、
 前記本体の前記対向面から少なくとも一部分が突出するように前記本体に設けられ、生体
 体に接触する第1の接触面を備える第1の生体センサと、
前記第1の生体センサを支持する第1の剛体部と、
前記第1の剛体部に着脱可能な蓋体と、を有し、
前記蓋体は、前記第1の生体センサの周囲を囲うように配置され、前記第1の生体セン
サの周囲に沿う方向に回転させることで着脱可能である、生体情報取得デバイス。

【請求項2】

前記第1の生体センサが、前記第1の接触面を備えて前記本体の前記対向面から少なく
 とも一部分が突出する振動板と、前記振動板の振動を検出する圧電素子とを含み、生体の
 発する音を測定する生体音響センサである、請求項1に記載の生体情報取得デバイス。

40

【請求項3】

前記第1の剛体部に着脱可能なバッテリーを含み、
前記バッテリーは、前記対向面から見て前記第1の生体センサと重なっている、請求項1
に記載の生体情報取得デバイス。

【請求項4】

前記対向面から少なくとも一部分が突出するように前記本体に設けられ、生体に接触す
る第2の接触面を備える第2の生体センサをさらに有し、
前記対向面から前記第1の生体センサの第1の接触面までの距離が、前記対向面から前
記第2の生体センサの第2の接触面までの距離に比べて大きい、請求項1または2に記載

50

の生体情報取得デバイス。

【請求項 5】

前記第 2 の生体センサが、前記第 2 の接触面をそれぞれ備える複数の電極を含み、生体の心電波形を取得する心電センサであって、

前記第 2 の生体センサの前記複数の電極が、前記複数の電極の間に前記第 1 の生体センサが位置するように、前記本体に設けられている、請求項 4 に記載の生体情報取得デバイス。

【請求項 6】

前記第 2 の生体センサの前記複数の電極の前記第 2 の接触面が、導電性ゲルを介して生体に接触し、

生体と接触する前記導電性ゲルの表面が前記第 1 の生体センサの前記第 1 の接触面と同一平面に位置するように、前記複数の電極が前記本体に設けられている、請求項 5 に記載の生体情報取得デバイス。

【請求項 7】

前記本体が、前記第 1 の生体センサを支持する第 1 の剛体部、前記第 2 の生体センサの前記複数の電極それぞれを支持する複数の第 2 の剛体部、および前記第 1 の剛体部と前記複数の第 2 の剛体部とを支持し、前記第 1 の剛体部と前記複数の第 2 の剛体部より軟質な変形部を含んでいる、請求項 5 または 6 に記載の生体情報取得デバイス。

【請求項 8】

前記第 1 の生体センサが、前記本体の前記対向面から生体側に、前記複数の第 2 の剛体部に比べて大きく突出している、請求項 7 に記載の生体情報取得デバイス。

【請求項 9】

生体の体温を取得する温度センサをさらに有し、前記温度センサは、前記複数の電極の少なくとも一つを介して体温を取得する、請求項 5 から 8 のいずれか一項に記載の生体情報取得デバイス。

10

20

30

40

50